



地域おこし協力隊に就任しました！

「伝える人」から「動かす人」へ

人と人をつなぎ、森町に新しい挑戦を生み出す

高尾 晋 Susumu Takao

1968 年生まれ。東京都出身。北海道新聞社への就職を機に北海道へ。森町で 4 年間暮らし、今度は地域づくりの担い手に。

趣味：キャンピングカー、ライブ・フェス、音楽、鉄道

私は北海道新聞の記者として森町で 4 年間勤務しました。この町で暮らし、人と出会う中で、もっと森町に関わりたい、ここに残りたいという思いが強くなり、早期退職を決めました。

退職後の半年間は、全国の地域づくりや人口減少、高校魅力化、関係人口などについて、自分なりに研究してきました。そして今度は、記者として外から伝えるだけでなく、自分自身が地域づくりの担い手として動いてみようと考えました。

9 月から森町の地域おこし協力隊として活動します。自身の移住経験を生かし、移住・定住や関係人口など、地域と人をつなぎ取り組みに携わります。また、10 月からは協力隊の仕事とは別に、森高校放課後塾の塾長として、高校の魅力化や部活動の応援に取り組みます。SNS で森町の魅力や課題、新たな挑戦を発信し、人と人がつながるきっかけをつくります。

人と人をつなぎ、新しい挑戦を生み出す。森町を「面白いことをやっている町」にしていきたいと思います。



Facebook



Instagram

森町の「いま」を
SNS で配信中！

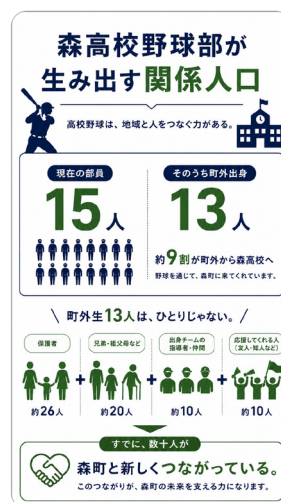
森町の読むルール

森町の魅力や地域の課題、高校のこと、人口減少や関係人口など、少し硬くなりがちなテーマを「読める画像」にして、Instagram などのリール（短い動画）で発信しています。

短い時間でも内容が伝わり、森町を知らなかった人が町を知るきっかけになる。読んでもらうことで理解が深まり、共感や新しいつながりが生まれる。

「伝える」だけではなく、「関わるきっかけ」をつくる。そんな森町発の情報発信を目指しています。

▶森町の魅力や地域の課題、高校のこと、関係人口のことなど、さまざまなテーマを写真や動画でわかりやすくお届けしています。



秋の火災予防運動が始まります！

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 2 コンロを使う時は火のそばを離れない
- 3 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く
- 4 ストープの周りに燃えやすいものを置かない

火災の原因

- 1 位 たばこ
- 2 位 たき火
- 3 位 コンロ



火災が発生した時の災害情報はこちらから！

森町災害情報案内サービス ☎ 3-2119 *通話料がかかります

岡森町消防署 ☎ 2-2125

砂原支署 ☎ 8-2156